

2019～2020 年度図書館鉄道資料調査委員会活動記録

2021.2.27 藤田吾郎

(1) 寄贈品の受け入れ

新たな寄贈品として、種村直樹コレクション、腕木式信号機用裏眼鏡(明治期)、連結用リンク部品(同)、小田急 2200 形ボギー台車スパイラルベベルギヤなどがあつた。

(2) 寄贈品の整理

大学生有志および鉄道友の会会員有志の協力を得て、原則月 1 回の整理を継続している。ただしコロナ禍後は学内教員と学生での限定した活動としている。整備した主な物品は、20 世紀初頭の車両明細図(写真 1)、通票閉塞器、スパイラルベベルギヤ(写真 2)である。また紙資料類は電子化を進めている。

(3) 寄贈品の書誌登録

これまでは書籍が中心であつたが、附属中高に保管されているアイテムについてもリスト作成と書誌登録を進めた。約 300 点が完了している。

(4) 広報

小田急 2200 形ボギー台車スパイラルベベルギヤの受け入れにあたり、2019 年 11 月 30 日に生涯学習講座として記念講演講座「高性能電車の発展と技術保存 -小田急電鉄の果たした役割-」を開催した。本品は現在整備の最終段階であり、完了後に広報課からプレスリリースを発行する予定である。

(5) しばうら鉄道工学ギャラリーの運用状況

・学外に対してはホームページ開設により公開内容とスケジュールを周知している。平日は近隣の住民の利用が 1 日あたり数名あるが、コロナ禍で中断している。学校説明会や公開試験などのイベント時には数十名規模での見学がある。

・写真展示として「ローカル私鉄の旅(1)新潟交通 -岸由一郎コレクションより-」(写真 3)、「附属中学高等学校鉄道研究部写真展示」を開催、各 30 点の展示である。これもコロナ禍でストップ状態、今後の再開が望まれる。

(6) 委員会の開催

・2021 年 3 月 3 日に委員およびオブザーバーを交えてオンラインで会議を実施した。進捗報告と今後の方針を議論した。

(7) 次年度の予定

- ・未整理の物品がまだある。引き続き整理を進め、コレクションとしての体系化をはかる。
- ・図書館鉄道技術資料調査委員会の設置が 2021 年 3 月で終了となるため、継続または見直しを検討する。



写真 1 20 世紀初頭の車両明細図



写真 2 小田急 2200 形ボギー台車スパイラルベベルギヤ



写真 3 写真展示「ローカル私鉄の旅(1)」

(以上)